



平成28年度 JA自己改革実践大会

農業者の所得増大と地域の活性化を目指して JAグループ茨城 「JA自己改革実践大会」を開催

「政府はもう嘘をつけない」
守るべき日本の宝「堤 未果先生」



第1分科会 農業



第2分科会 地域・くらし



第3分科会 組織・経営



加倉井豊邦 JA茨城県五連会長

JAグループ茨城は10月21日、つくば市のつくば国際会議場で平成28年度「JA自己改革実践大会」を開きました。昨年の第27回県JA大会において、「JA自己改革を確実に実践するとともに組合員・地域住民に広く情報発信を行う」ことを決議しました。これを受け、県内JA役員や生産部会員、女性部、青年部員約650人が一堂に会し、その成果や今後の課題を、各JAの事例報告等を通じて確認しました。

加倉井豊邦JA茨城県五連会長は「私たちの組織は地域に信頼され、生活に不可欠な存在にならなければなりません。役員一人ひとりが、27回大会で決議したことを誠実に実行しているか、日々確認してもらいたい。そのための大会にしていこう」と話し、県中央会からは、JA自己改革の取り組みについての情勢報告を受けました。

基調講演では国際ジャーナリストの堤未果先生が「政府はもう嘘をつけない」と題し、グローバル企業の脅威や協同組合の大切さなどを説きました。堤先生は「目指すものは利益の最大化ではない。地域の人とながり、伝え合える小さなコミュニティを大切にして人間らしく生きること。それを守るのが協同組合の役割」と呼び掛けました。

分科会では、「農業」「地域・くらし」「組織・経営」の3つに分かれ、テーマごとに実践報告やJAが果たすべき役割についての理解や認識を深めました。

JA北つくば自己改革への実践

自己改革に対する基本的考え方

本年2月におけるTPP交渉の大筋合意や4月1日からの改正農協法の施行に伴い、日本の農業への強い危惧と危機感を抱いておりますが、今こそ協同組合の力を発揮すべき時期であると考えており、農業者所得の向上と地域社会の発展に向けて営農販売部門の強化や人材育成等を図り、地域貢献に向けて自己改革に取り組んでまいります。

JA北つくばでは、地域農業の持続的発展と心豊で健康な生きがいのある地域社会づくりに貢献しますという経営理念のもと、①持続可能な農業の実現への取り組み、②豊かで暮らしやすい地域社会の実現、③地域から信頼されるJAを目指した経営基盤の強化、④食料・農業・地域・JAへの理解醸成に向けての取り組み、の4つを経営方針に掲げ、事業運営に取り組めます。昨年8月には正組合員のみなさまの声を事業に反映させるために「組合員アンケート」を実施させていただきました。農業情勢の変化とあわせて世代交代も進み、JAに対する期待感や要望も多様化しており、これまでの事業の在り方や成果・課題・ご意見等を分析し、協同組合の原点に立ち返り、組合員のみなさまや地域社会から信頼される組織づくりに向けて自己改革運動を展開してまいります。

これまでの改革の成果

①農業「所得増大への貢献」

農業者の所得増大に向けてマーケットインに基づく契約・買取販売の拡大を図るため、実需者ニーズに応える「コメづくり」への計画的な作付誘導とJA北つくば産米の付加価値の向上を目指し、安定需要が見込まれる新品種導入により、更なる販売強化による農業者の所得増大に努めています。
※新品種 つくばSD2号の生産委託栽培面積 平成28年度 67ha

主食用米の需要減少に対し、需要が見込める飼料用米等の継続生産による水田をフル活用した需給調整を実践し、主食用米の価格安定に努めています。
※平成28年度飼料用米等（水田活用米穀） 取組計画 1,605ha 8,527ト

②地域・暮らし「くらしの活動の実践を通じたJAファンづくりの拡大」

地域コミュニティの拠点をめざし10支店ごとに「ふれあい委員会」を立ち上げ、その地域にあった「ふれあいイベント」を支店独自に企画し、「ふれあいまつり」や「夏休み親子体験教室」「移動購買」などを実施しています。この活動により、普段JAを訪れることのなかった地域の人たちとの交流の輪を広げています。



◆米粉を使った食農教育



◆子育て支援センター「ブルーベリー狩り」

また、全国でいち早く取り組んだ子育て支援対策では、子育て支援センター「はだしっ子」を中心に地域の若い親御さんたちの交流と育児不安の解消を目的に事業展開をしています。



◆看護師による子育て相談

③組織・経営「次代へつなぐ組織基盤強化・組織活動支援の実践」

- ・女性・次世代の経営参画
女性理事2名（女性組織代表者）および参与1名（次世代農業研究会代表者）の経営参画により組織の活性化を図っています。
- ・未来塾（中核人材研修会）の開講
JAを巡る環境変化を鑑み、次のJAの時代を担う中堅職員の人材育成に向けて、部署を越えた横断的な学習会を開催しています。
平成27年度 … 23名参加
平成28年度 … 15名参加



◆未来塾（中核人材研修会）

今後の改革の取り組み

①農業「販売力強化に向けた人材の育成・確保」

平成28年度に営農販売部門に配置された「専門業務従事者」を中心とした、営農販売担当者の営農技術・販売に係る知識の高度化を図り、販売環境の変化と多様な消費者・実需者ニーズに対応できる人材を育成・確保することで体制強化を図ります。

- 平成28年度 9名配置（米販売1名、営農指導7名、特販1名）



◆専門業務従事者による営農指導

②地域・暮らし「支店を核とした協同活動の実践」

次世代をはじめ多様な組合員や地域住民に対して協同組合組織としての機能・役割の理解を深めるため、JA全支店において協同活動（くらしの活動）を実践します。

③組織・経営「地域から信頼されるJAとしての経営基盤強化」

地域特性を踏まえた「JA経営基盤戦略」を策定し、健全経営に相応しい経営体制確立のため求められる経営資源の再配置、総合的なリスク管理体制の構築に取り組めます。

また、効率化への取り組みや資本・財務対策等により、健全性の向上を図ります。



◆地区別事業報告会

組合員のみなさまへ

私たちJA北つくばは地域の「農業」と「くらし」を支え、組合員や地域のみなさまから、必要とされるJA、愛されるJAを目指して自己改革を進めています。

農業者所得の増大に貢献するため、営農販売部門の強化に全力で取り組み、これからも農家のみなさまと作物の実りを共に喜び、収穫を共に祝うJAでありたいと考えています。また、支店を中心とした総合事業活動やくらしの活動を展開し、協同組合運動の実践に取り組む、地域農業振興と豊かなくらしづくりに努めます。

いつまでも組合員や地域のみなさまと成長し続け、新しいJA北つくばづくりにチャレンジします。

ファーマーズマーケットきらいち
マスコットキャラクター

